

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301161	教育実習指導 Practice Teaching Guidance	近藤茂明・平岩暁子 森山三千江・山田陽平	専門	1	選択	4年集中前期

**科目の概要**

教育実習を有意義なものにすることを旨とする。具体的には、入念な事前準備、教育実習の内容・方法の理解、実習後の総括が不可欠であるため、事前指導(担当教員による諸理解)・事後指導(全員教員による振り返り)に分けて行う。

学修内容	到達目標
① 教育実習の心構えを確かなものにし、必要な準備を行う。 ② 教育実習の内容や方法を理解する。 ③ 学習指導案作成や教材研究に基づき、模擬授業などを行う。 ④ 実習後に振り返りを行い、教育実習の成果と今後の課題を相互に確認する。	① 教育実習の心構えを確かなものにし、必要な準備を行うことができる。 ② 教育実習の内容や方法を理解することができる。 ③ 学習指導案作成や教材研究に基づき、模擬授業などを行うことができる。 ④ 実習後に振り返りを行い、教育実習の成果と今後の課題を確認することができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	物事に進んで取り組んでいる。
	働きかけ力	他人に働きかけ、巻き込んでいる。
	実行力	目的を設定し、確実に行動している。
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備している。
	創造力	新しい価値を生み出している。
チームで働く力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝えている。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴いている。
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解している。
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解している。
	規律性	社会のルールや人との約束を守っている。
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応している。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：「教育実習の手引」(愛知学泉大学)

参考文献：各教員から紹介される。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：家政学に関する専門科目、教職専門科目、すべてに関連がある。

資格との関連：中学校および高等学校教諭一種免許状(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
教育実習の概要を理解し、実習への心構えを堅固なものにする。(近藤) 発表や模擬授業にあたっては入念な準備を行い、発表後には改善点を自分なりに考える。(山田) 事前に家庭科教育法で学習した内容を復習し、家庭科の教科書の内容も再確認してくる。(平岩) 指導要領や教科書を読み直しておく。授業後は、気づいた点をあげて次回の授業に採り入れるようにする。(森山)	事前指導では、各教員の話をよく聞き、教育実習に備える。 事後指導では、反省会を行い、各自の実習の成果を発表し、今後の課題を明確にする。 教育実習日誌・研究授業指導案・実習報告書などは、提出遅れや提出漏れがないよう特に注意する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	90	①	✓	出席状況、実習体験発表、提出物（教育実習日誌・研究授業指導案・実習報告書など）の提出状況をみて、全教員の協議により総合的に評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	以下の観点それぞれに対して、15週を通して観察し、評価する。 主体性 物事に進んで取り組んでいる。 働きかけ力 他人に働きかけ、巻き込んでいる。 実行力 目的を設定し、確実に行動している。 課題発見力 現状を分析し、目的や課題を明らかにしている。 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備している。 創造力 新しい価値を生み出している。 発信力 自分の意見をわかりやすく伝えている。 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴いている。 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解している。 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解している。 規律性 社会のルールや人との約束を守っている。 ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応している。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
出席状況、実習体験発表および提出物の提出状況をみて、担当教員全員の協議により、かなりできていると判定されたものをAとする。Aに加えて、評価方法に記載された社会人基礎力を少しでも発揮していればSとする。	出席状況、実習体験発表および提出物の提出状況をみて、担当教員全員の協議により、わりとできていると判定されたものをBとする。Cは少しできていると判定されたものとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	事前指導(1)(近藤) 教育実習の意義や概要について学修する。	講義 演習	教育実習の意義や概要について理解できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	180	傾聴力 課題発見力
2週 /	事前指導(2)(近藤) 教育実習の心構えについて学修する。	講義 演習	教育実習の心構えについて理解できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	180	傾聴力 課題発見力
3週 /	事前指導(3)(近藤) 教育実習の前後にすべきことについて学修する。	講義 演習	教育実習の前後にすべきことについて理解できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	180	傾聴力 課題発見力
4週 /	事前指導(4)(山田) 生徒指導を復習するとともに、教育実習生としてのあり方を考える。	講義 演習	生徒指導のポイントを説明できる。 教育実習生としてのあり方・立ち位置を説明できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	180	傾聴力 課題発見力 発信力
5週 /	事前指導(5)(山田) 自己紹介の練習をする。 学習指導を復習し、授業の導入や生徒を思考させる方法を考える。	講義 演習	生徒を想定した自己紹介ができる。 効果的な学習指導のポイントを説明できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	180	傾聴力 課題発見力 発信力
6週 /	事前指導(6)(山田) 教育実習で探究する課題(特に観察の視点)を明確にする。	講義 演習	教育実習で探究することを説明できる。	(予習) 配布資料の熟読 (復習) 学習内容の整理	180	傾聴力 課題発見力 発信力
7週 /	被服分野の指導法(平岩) 被服分野の内容を復習し、指導する立場から、重要な点をまとめる。	演習とグループ ディスカッション	被服分野のポイントについて、教える立場から考えることができる。	(予習) 家庭科教育法で学んだ内容の復習 (復習) プリント記入による復習	180	主体性 実行力 課題発見力
8週 /	被服実習の指導法(平岩) 被服分野の実習授業に備えて、教材を作成して、ポイントを確認する。	実習とグループ ディスカッション	教える立場から、わかりやすい被服の教材を完成できる。	(予習) 学習内容の確認 (復習) 実習授業のポイントのまとめ、模擬授業の準備	180	主体性 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	模擬授業と内容の検討(平岩) 被服分野の模擬授業を行い、全体で教授法や内容を検討する。	模擬授業 内容に対するディスカッション	模擬授業の内容について、問題点をまとめることができる。	(予習) 模擬授業の準備 (復習) 授業のポイントの復習	180	主体性 実行力 状況把握力
10週 /	模擬授業の実施とその内容の検討(森山) 家庭科の教材研究	模擬授業 実験・実習および講義	模擬授業の実施および受講により、教員の立場から授業を見ることが出来る	(予習)家庭科教科書の熟読 (復習) 注意点のまとめ	180	主体性 実行力 傾聴力
11週 /	模擬授業の実施とその内容の検討(森山) 家庭科の教材研究	模擬授業 実験・実習および講義	模擬授業の実施および受講により、指導上の注意点が把握出来る	(予習) 内容の要点を教科書から読み取り (復習) 注意点の復習	180	主体性 傾聴力 課題発見力
12週 /	模擬授業の実施とその内容の検討(森山) 指導方法および評価方法の検討	模擬授業 実験・実習および講義	模擬授業の実施および受講により、指導案の項目がきちんとしているか確認する	(予習) 指導案作成・反省点を生かした再度指導案作成 (復習) 作成した指導案の確認・検討	180	主体性 傾聴力 課題発見力
13週 /	事後指導(1) (近藤・平岩・森山・山田) 各自の体験発表、反省記録・実習日誌・指導案の提出、礼状送付などについて指導する。	講義 演習	各自の体験発表、反省記録・実習日誌・指導案の提出、礼状送付ができる。	(予習) 実習体験発表の準備 (復習) 今後の課題の整理	180	発信力 課題発見力
14週 /	事後指導(2) (近藤・平岩・森山・山田) 各自の体験発表、反省記録・実習日誌・指導案の提出、礼状送付などについて指導する。	講義 演習	各自の体験発表、反省記録・実習日誌・指導案の提出、礼状送付ができる。	(予習) 実習体験発表の準備 (復習) 今後の課題の整理 教職履修カルテ、自己評価シートの準備	180	発信力 課題発見力
15週 /	事後指導(3) (近藤・平岩・森山・山田) 各自の課題を明らかにして、後期の教職実践演習に備える。 教職履修カルテ、自己評価シートを提出する。	講義 演習	各自の課題を明らかにし、教職履修カルテ、自己評価シートを提出できる。	(予習) 実習体験発表の準備 (復習) 今後の課題の整理 教職履修カルテ、自己評価シートの準備	180	発信力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力